

ちゃんと かわら版 千歳



株式会社JALス
カイ札幌(鈴木美輝
代表取締役社長)は三
菱鉛筆北海道販売株
式会社(鈴木孝雄代
表取締役社長)との
初コラボレーション
アイテムとして、アッ
プサイクルボールペ
ン「JETSTREAM X
JAL reborn and fly」
(以下「reborn and
fly」)を3月16日から、基
本北海道限定で販売開
始。カラーバリエーショ
ンは5色で価格は税込
3千850円です。

「reborn and fly」は、
4色ボールペン+シャ
ーペンの機能をもったマ
ルチペン。最大の特徴は
ペンのグリップ部分
に航空機の車輪止め
(滑り止め)としての
役割を終えた木製の
チョークが使われて
いること。この開発
には2年半もの期間
と担当者の熱い思い
がこもっていると聞



滑り止めのチョークをアップサイクル 開発期間2年半 JALがマルチペン発売

き、開発ストーリー
を伺ってきました。
「このペンには、私
の子どもといえるほ
どの思いがこもって
います」と話してく
れたのは、開発を担
当したJALスカイ
札幌の伊橋真由さ
ん。「最初、三菱鉛筆
北海道販売さんに
木製のアップサイク
ル可能な備品はあ
りませんか？」と提
案されました。そし
て、探し当てたのが
チョーク。アップサ
イクルすると決め
たものの、必要な量
の確保が困難で、集
めた使用済みチョー

クの約半分は、千歳市内
での第一次加工にすま
ませない状態だったとい
います。そんな状況で伊
橋さんがチョークを1本
1本厳選し、用意できた
「reborn and fly」は初回
ロットの約3千本。現在
のところ事実上の限定品
となつているそうです。
取材をした記者は、滑
り止めのチョークを使っ
たペンだけに、受験生や
お笑い芸人、北海道で冬
道を運転するすべての人
におすすめるべきの良
いアイテムだと感じてい
ます。本紙8ページの読
者プレゼントにもぜひご
応募ください。

(編集部 齋藤)

昨年12月6日に千歳市
桂木1丁目で発生した一
般建物火災において、火
災現場での被害を最小限
に抑え、延焼を阻止した
として、3月10日に坂口
忠義千歳市消防本部消防
長が有限会社マルイケ生
杉共電の社員3
人に感謝状を贈
呈しました。感
謝状を贈呈され
たのは、第一発
見者のチン・ウ
ン・トゥエンさ
ん、通報を行っ
た生杉太樹主任、
初期消火を行っ
た賀集修部長。
火災当日、付
近で電気工事の



千歳市消防本部が 感謝状を贈呈 勇気ある行動が被害を最小限に

高所作業の準備を行っ
ていたチン・ウアン・トゥ
エンさんが付近の家屋の
ダクトから黒煙が出てい
ることを発見。そこで生
杉主任に異変を伝え、賀
集部長と3人で家屋に
近づいたところ、ダクト
に隣接する窓の内側で炎
が上がっていることを確
認。生杉主任が所持して
いた携帯電話で119番
通報を行いました。
続いて3人は、建物の
管理人に火災の旨を伝
達。その後火災元と思わ
れる厨房に同行
したところ、電
熱式コンロ上の
天ぷら鍋から炎
が立ちのぼって
いたため、賀集
部長が付近に設
置されていた粉
末消火器で初期
消火を行ったと
いいます。
実際に初期消
火を行った賀集

部長は「炎の上がついて
いる天ぷら鍋を見たときに
は、一瞬逃げようかと思
いましたが、きつと消火
器があるはずと考え、廊
下に出たら目の前にあり
ました。そこから先は、
ほとんど無我夢中でし
た」と体験を語ってくれ
ました。
坂口消防長によると
「一歩間違えば全焼火災
にも発展する可能性は大
きかったと思います。3
人の勇気ある行動で被害
者も出ず、被害も最小限
に抑えられたことには感
謝してもしきれません」
と、その働きを称えまし
た。

(編集部 齋藤)

北洋「SLL」で災害時用 仮設住宅のホテル施設 を千歳に建設

北洋銀行(津山博恒
取締役頭取)は株式会
社アーキビジョン二十一
(丹野正則代表取締役)
と「サステナビリティ・
リンク・ローン」(以下
「SLL」)の契約を
締結しました。アーキビ
ジョン二十一との「SLL」
では同社の開発した
移動式木造住宅「スマー
トモデューロ」の事業売
り上げをSPTS(サス
テナビリティ・パフォー
マンス・ターゲット/環
境や社会課題の解決に向
けた目標)として設定。
この「SLL」自体が
国際的にみて「SLL原
則」などに整合している
かは株式会社北海道共創
パートナーズによって、
当事者以外の専門家に意
見を求めるセカンドオピ
ニオンを取得している
といます。

北洋銀行とアー
キビジョン二十一と
の「SLL」は、金額
8億9千万円、期間は10
年、資金使途は設備資金
です。これによって具体
的になに行われるかと
いうと、その1つが、千
歳市真々地で行われてい
る人に自然に社会にやさ
しい次世代ムービングハ
ウス「スマートモデュー
ロ」によるホテル施設
の建設です。「スマー
トモデューロ」で建築され
たホテル施設は、災害発
生時、被災地へ仮設住宅
として簡単に移動するこ
とが可能。これまでは災
害が発生してから、仮設
住宅を生産、被災地に輸
送していたため、大きな
タイムラグが発生する
という社会課題がありま
した。これに対して通常
はホテルとして使用して
いる「スマートモデュー
ロ」を移動することで被
災地に対して迅速な対
応が可能になります。ま
た、仮設住宅が必要なく
なった際にもホテルに戻
すことも可能で、無駄が
少なく環境にも優しいわ
けです。まさにサステナ
ビリティ(継続可能性)
と深くリンクしたローン
(融資)といえます。

(編集部 齋藤)

OWNERS HOUSE

内覧会

3/29 (sat)・3/30 (sun)
4/5・6・12・13 平日の見学希望の方はお問合せください
OPEN▶10:00 CLOSE▶17:00
千歳市青葉1-2-11

現地ご案内MAP

[隠静の家]

～駅近くという好立地にありながら、自然に囲まれた暮らし～